

## 第 43 回 津市子どもの権利条例づくり推進市民委員会 報告

日 時：2014 年 12 月 25 日（木）18：30～

場 所：市役所 5F 51 会議室

### <参加者>（敬称略）

中村 潔（津市人権擁護委員協議会）、堀本浩史（すばる児童館）、増田和正（津市人権・同和教育研究協議会）、山野孝治（あそび箱 AM）、小池啓子（三重県ユニセフ協会）永合哲也（津市教育委員会事務局 人権教育課）、戸上喜之（津市こども支援課）、小林泰子（〃）、村田有香（〃）、田部眞樹子（津子ども NPO センター）、竹村 浩（〃）、野口寛子（〃）、谷口美子（〃）、山口久美子（〃）、山下恵子（〃）、川喜田ひろ美（〃）

進行：小林さん

### ●第 42 回市民委員会（2014 年 11 月 9 日）報告

- ・竹村事務局長より報告
- ☆子ども委員会チーム会議の報告（資料参照）
- ・子ども委員会の報告（資料参照）

### ●今後の見通しを立てる話し合いの前に

- ・場が（暗い）ので、子ども委員会で「てつがくのライオン」話をした時、子どもたちの反応がおもしろかったので、その話からすすめてはどうか。
- ・これを読んで子どもたちから何が出ると思ったか？
- ・子どもたちから出るものが少ないと思っていた。感じる事が出されて良かった。
- ・かたつむり（小さい）、ライオン（百獣の王）。かたつむりの言ったことをライオンが受ける…ライオンの素直さが可愛い。
- ・大人の方がわかりにくい。恰好をつける。
- ・恰好をつけていると思っていない（実態と乖離している）
- ・子どもの方が素直、決めつけがない。
- ・人間社会に重ねると面白い。子どもたちに感じてほしい。
- ・子ども委員会では自分に重ねて、どんな人だと感じてほしい。
- ・自分なりのこだわりについて話した。
- ・考えるということが大事。そのことが少しずつできてきた。
- ・子ども委員会では、子どもの集団ができた。ものを考える場を作ってきた。  
（今は意図的でないと作れない）

### ●「市民委員会」をどうしていくかの話し合いへ

- ・戦略、庁内での積み上げが大事。
- ・東員町の条文案ができた。津の骨子案もずいぶん参考になった。
- ・私たちはどうしていきますか？・・・市民委員会としての戦略が必要。

- ・議員を動かすという方法もないわけではないが、敢えてしてこなかった。
- ・いろいろな作り方がある。(東員町、名張市)
- ・どういう作戦が必要なのかわからない。自分たちもいい勉強になった。(4年半)
- ・市民委員会の作り方は良かったが、条例としては弱かった。

● 3グループに分かれて話し合いをする。全体共有。

①グループ

<子ども委員会>

「しきり直し」は解散ではない  
 学校等に説明は必要  
 参加している子どもたちもふりかえる機会に

<市民委員会>

“子どもの権利”をつかんできた。  
 固定メンバーなので、市民に広げていく。→フォーラムとか  
 クールダウン  
 そういう場もつくる。研修、学び合う  
 “子ども主体”の取り組みをひろげる

- ・いろんなところに →学童とか
- ・子ども主体の取り組みをひろげる
- ・議員全員に知らせる場をつくりたい

②グループ

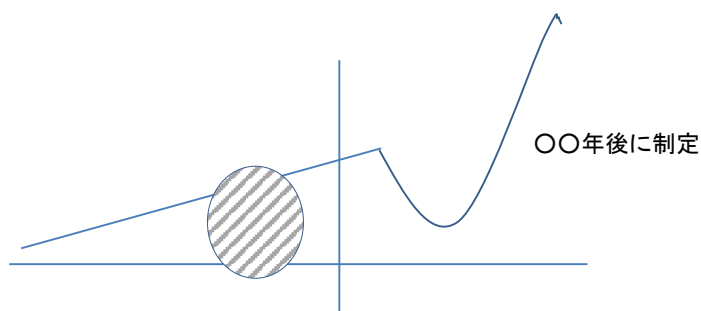
<子ども委員会> ←組織そのものを考えていく

「しきり直し」・・・解散?  
 教育委員会 条例をつくるため  
 子どもの声

「区切りをつける」←そのまま  
 説明が必要(見通しが変わったこと、これからのこと)  
 →子どもたち、学校、保護者

<市民委員会>

目標に向かって取り組んできた  
 疲れている  
 新たに目標を設定して取り組んでいきたい  
 ↓  
 ○○年度に制定



③グループ

<子ども委員会>

- ・家庭学校とはちがう人との出会い

- ・ 数を集めないと意味がない
- ・ 条例をつくるという目的とずれている

#### <市民委員会>

- ・ 条例をつくるメリットを市民に知らせる  
→ 素案をつくっては？（川崎とかを参考に）  
素案に基づいて、今の子どもたちの状況を改善していく  
川崎、名張にならって…

#### ● 「子ども委員会」の仕切り直しについて

グループの発表を受けて、「子ども委員会」について事務局より確認があった。

- ・ 子ども委員会の目的  
子ども参画のモデルの現場をつくるが目的（大人が参加して子ども参画を掴ませてもらう）  
いろんなところに子ども委員会を作ることが目的  
ファシリテーターを作ることが目的  
子ども委員会のファシリテーターをすることで現場を作っていく（堀本さんのように）
- ・ 子ども委員会の位置づけが変わる？  
位置づけは変わらない市民委員会も仕切り直しをしている。見通しが変わっただけ。  
条例ができる方が行政は扱いやすいし、施策に反映しやすい。
- ・ これからの子ども委員会については、次回1月24日に話し合う。
- ・ 条例を作ることで呼びかけたので、仕切り直し（今の状況を話して今後どうするのか）が必要。

#### ● 次回日程調整 第44回市民委員会 2月6日（金）18:30～